

福島市立杉妻小学校 実践研究テーマ「『たい』が泳ぎ続ける学校づくり ～キャリア教育の視点を生かした授業デザインを通して～」

自分にとってもみんなにとってもよりよい学級を目指して
学級活動(1)の実践 ～1年～

- 議題名 もっとにこにこドッジボール大かいをしよう
- 本時のねらい
自分の考えを話したり友達の意見をよく聞いたりしながら、前回よりももっと楽しいドッジボール大会の工夫について合意形成を図ることができる。
- 本時の概要
事前に提案理由を確認し、何のためにやるのかという目的を理解して話し合うことができた。子どもの思いやイメージを教師が確認したりまとめたりすることで納得して話し合い、これまでの経験を生かして決定することができた。

○子どもの姿



これまでの活動の振り返りを生かし、「チームを変えたい」「表彰したい」「ルールを工夫したい」「応援したい」など、話し合うことを事前に全体で確認することで、必要感をもつことができた。

友達の意見を聞いて、自分の考えと比べたり新たに考えをもったりしながら、よりよい方法を決定できるようにした。



話し合い最後の「先生のお話」において価値付けしたことで、自分や友達、学級のよさや課題に気づき、いろいろな視点で振り返りをする事ができた。



「なりたい自分」と本を結び、本の新しい魅力を知ること
読書活動をより豊かにする学級活動(3)の実践 ～4年～

- 題材名 本のみりよくを知り、自分をパワーアップさせよう
- 本時のねらい
本の魅力を発見したり、本の中になりたい自分のヒントがかくされていることが分かったりすることで、自らいろいろな分類の本を読む良さに気付くことができる。
- 「ここでほめたい！」児童の姿
友達や学校司書のブックトークを聞いて、本の魅力に気づき、読みたい本を選んで、読書生活を前向きなものにしようとする姿【キャリアプランニング能力】
- 本時の概要
これまで学校図書館で借りてきた本の分類やキャリアパスポートを振り返り、友達や学校司書のブックトークを聞くことで、本の魅力を発見し、パスファインダーを使いながら読書の幅を広げていこうとすることができた。

○学びの姿

子どもたちのアンケートから「図書館に行く理由」と「なりたい自分」にはつながりがあることに気付かせることができた。



学校司書のブックトークを聞き「今までに読んだことのないジャンルの本も読んでみよう」と読書の幅を広げるきっかけをつくる事ができた。

パスファインダーは、子どもたちが本を探す手がかりとして大変効果的だった。



